



盛岡市プレスリリース

～ 世界を舞台に輝きつづける観光のまち 盛岡～

令和8年9月17日
交流推進部観光課

市政記者クラブ加盟社 各位

もりおか町家物語館 「江戸糸あやつり人形結城座と盛岡展」を開催

もりおか町家物語館では、文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等と芸術団体との連携による地域活動基盤形成支援事業 独立行政法人日本芸術文化振興会の事業の一環として、9月26日（土）から、「江戸糸あやつり人形結城座と盛岡展」を開催いたします。江戸糸あやつり人形結城座は、80年程前に盛岡に疎開してきたご縁から深い関りがあります。その結城座の歴史や、人形の仕組みなどを紹介した展示です。詳細は案内チラシをご参照ください。

記

- 1 日 時 令和8年9月26日（土）～10月25日（日）
10：00～17：30（17：00 最終入場）
- 2 会 場 もりおか町家物語館 大正蔵2階「時^{とき}空の展示室」
- 3 観覧料 無料
- 4 主 催 もりおか町家物語館
（指定管理者：NPO法人いわてアートサポートセンター）

※担当者が不在の場合もございます。来館いただいての取材は、事前にご連絡くださいますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

もりおか町家物語館 村岡（むらおか）
〒020-0827 盛岡市鉤屋町10番8号
TEL：019-654-2911／FAX：019-654-2913
E-mail：machiya@iwate-arts.jp

助成：



文化庁

Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等と芸術団体との連携による地域活動基盤形成支援事業

独立行政法人日本芸術文化振興会

江戸系あやつり人形結城座と盛岡展



めいぼくせんはいはぎ
『伽羅先代萩』

江戸系あやつり人形結城座は、80年ほど前、第二次世界大戦の末期、昭和20年に盛岡に疎開してから、盛岡と深いつながりがあります。盛岡にゆかりのある結城座の歴史や、人形の仕組みなどを展示紹介します。



『伽羅先代萩』より
主君のために我が子を
身代わりに捧げる悲劇の母、
政岡を演じている。



『タクボク～雲は旅のミチヅレ～』

【会期】 2026年 9月26日[土] — 10月25日[日]
10:00～17:30(最終入場17:00) **入場無料**

盛岡(10月23日(金)～25日(日))・二戸(10月31日(土)、11月1日(日)) 舞台公演実施
10月に体験・人形づくりワークショップ開催

【会場】  もりおか町家物語館

公式HP



とき 大正蔵2F「時空の展示室」

〒020-0827 盛岡市鉾屋町10-8 Tel. 019-654-2911

公式SNS⇒  @m_machiya_m  @moriokamachiya  @morioka_machiya_iasc

〔主催〕もりおか町家物語館(指定管理者:特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター)

〔共催〕盛岡市、二戸市、二戸市文化振興協会、IBC岩手放送

〔助成〕文化庁文化芸術振興費補助金

(劇場・音楽堂等と芸術団体との連携による地域活動基盤形成支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

〔後援〕岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、産経新聞仙台支局、

河北新報社、デーリー東北新聞社、NHK盛岡放送局、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、カシオペアFM

【MAP】



江戸系あやつり人形 結城座とは？



江戸時代から続く系あやつり人形芝居。この日本の伝統文化を受け継いでいるのは、職業的な劇団としては、結城座が唯一の存在です。結城座は、江戸時代の寛永12年（1635年）に初代結城孫三郎が江戸の葺屋町（ふきやちょう）（現在の日本橋人形町）に旗揚げ以来、現在の十三代目結城孫三郎まで390年以上の歴史を持つ伝統ある系あやつり人形劇団です。結城座は葺屋町に幕府公認の座として常打ち小屋を持ち活動していました。当初、説経節で興行していましたが、更なる表現力を求めていち早く義太夫節に転向し、次々に新しい作品を発表していきました。（国記録選択無形民俗文化財／東京都無形文化財）

盛岡との深いつながりは80年ほど前、第二次世界大戦の末期、昭和20年に盛岡に疎開してからです。終戦後も、盛岡劇場、映画館、松尾鉱山などで上演し、東京に戻ってからも学校公演のために県内を訪れています。

今回の展示では、盛岡にゆかりのある結城座の歴史や、人形の仕組みなどをご紹介します。

【結城座 沿革】

- 1635（寛永12）年、初代・結城孫三郎、日本橋に結城座（説経節系あやつり人形）を創設。
- 1716～1735（享保年間）、大火にしばしば見舞われる。
- 1741～1747（寛保～延享）、木挽町で興行。
- 1764～1771（明和年間）、結城座、義太夫節による興行に転身。
- 1785（天明5）年、日本橋に常打ち小屋を再興した結城座は、『伽羅先代萩（めいぼくせんだいはぎ）』を初演。
- 1843（天保14）年、8代目・孫三郎の幼児期、「贅沢禁止令」により日本橋から浅草に移転、休座。
- 1866（慶応2）年、両国で『三番叟』を興行するが、明治維新の動乱の中で廃座。
- 1860年代（江戸末期）以降、両川亭船遊、「写し絵」で人気を得る。
- 1883（明治16）年、両川亭船遊の息子、9代目・結城孫三郎を襲名、結城座を再興。
- 1903（明治36）年、9代目・孫三郎、東京・市村座で旗揚げ興行。
- 1923（大正12）年、関東大震災で人形・道具などを焼失。
- 1931（昭和6）年、借金整理のため、両国に移転。
- 1945（昭和20）年、盛岡へ疎開。敗戦、名古屋に移転。
- 1947（昭和22）年、9代目・孫三郎、死去。一系、10代目・結城孫三郎を襲名。
長男、2代目・一系を襲名。武蔵野市に移転。
- 1956（昭和31）年、東京都無形文化財に指定される。
- 1970（昭和45）年、10代目・孫三郎、紫綬褒章・文化財功労者賞受賞。
- 1986（昭和61）年、ベオグラード国際演劇祭『マクベス』で特別賞受賞。
- 1996（平成8）年、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選ばれる。
～他多数の受賞や、国内・海外での公演、育成事業などを実施している。

【本事業のお問合せ】 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

〒020-0878 盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階

Tel. 019-604-9020 Fax. 019-604-9021 Mail kaze@iwate-arts.jp

〔主催〕もりおか町家物語館（指定管理者：特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター）

〔共催〕盛岡市、二戸市、二戸市文化振興協会、IBC岩手放送

〔助成〕文化庁文化芸術振興費補助金

（劇場・音楽堂等と芸術団体との連携による地域活動基盤形成支援事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

〔後援〕岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、産経新聞仙台支局、

河北新報社、デーリー東北新聞社、NHK盛岡放送局、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、カシオペアFM